都市計画

都市計画では、区画整理事業が、前年度にひきつづき本格的に進められ、とくに国鉄駅前では家屋の移転が九分通り完了。そのほとんどが、これを機会に改装したため、日光の表玄関としての面目を一新した。

……◇……

相生、七里線も道路は完成。これにつながる相生、鉢石線が今後の計画路線として、着工を待つだけとなった。

……◇……

東武駅前、および所野本線の区画整理は、今年度準備が進められ、日光の玄関としての完成が期待される。

……◇……

所野公園は、今年は、野球場の整地工事が五割完了。ひきつづき工事されて、来年度は完成される。

市政懇談会

動く市役所として七月来から東大字地区、小来川地区を対象に、十一会場で実施された市政懇談会は、出席者の市政に対する活発な意見がだされた。

第一次計画の十一会場を終了して、市長は「たいへん良い勉強になった。役所のなかにいるだけでは、考えなかったような地区ごとの市民の声を、直接、なまの声で聞くことができたことは、それだけでも大いに意味があった。

今後はできるだけ市政に市民の声を反映して行きたいと思うが、とりあえず懇談会に御出席いただき、熱心に御討議くださった方がたに、厚くお礼申しあげたい」と述べている。

選挙

昨年は、〝選挙の年〟といわれるほどあった選挙も、今年は少なく七月十五日に「農業委員選挙」十一月二十日に「衆議院議員総選挙」および最高裁判所裁判官国民審査」が行なわれただけであった。

（写真㋑　清き一票、第一投票所にて）

選挙が少なかったのに反して、当り年となったのが「統計」で、四大センサス（農林業センサス国勢調査、事業所調査、商業調査）がすべて実施された。四大センサスが、一年間に行なわれるのは、三十年に一回で、まさに当り年の名に恥じない。

……◇……

十一月一日の国勢調査の結果市で集計した人口総数は、三万三千三百四十八人で、前回の昭和三十年度より百四十二人が減少した。

これらのくわしい報告は、その都度掲載しているが町内別人口は、前月号に、また年令別人口は今月号四面に掲載してあるので見ていただこう。

× × ×

道水

水道は、新市計画のなかの配水事業の一つとして、まず今年は丹勢、清滝地区の完全給水のため、配水池を丹勢に新設。三十六年度から新設線に切り替えられる見通しとなった。

……◇……

取水については、台風時の濁水をさけるため、安良沢上流の湧水を取り入れる工事がはじめられ、十二月中に完成する。

……◇……

今年度からはじめられた上水道の工事は、明年度にかけて施工されるが、完成すれば、細尾以南は七里まで完全に給水される。

……◇……

下水道も中禅寺地区の五か年計画が、今年度からはじめられた。

農林事業

農林業関係の各種事業も、数多く完成をみ、おもなものだけでも、野口志渡淵用水護岸工事、山久保松の木内農道工事中小来川大久田かんがい排水工事、中界堀かんがい排水工事、野口機場揚水事業などがある。

……◇……

また豊岡漁村振興特別助成事業も数多く実施され、東小来川に共同炊事施設が完成したのをはじめ、小規模共同土地改良事業かんがい排水（上野、南小来川）や、共同利用の農機具（サイロ型枠、ミスト兼用機）の購入も数多くなされた。

（写真㋒　戦場ガ原で活躍するミスト兼用機）

橋・林道

昨年九月から工事にかかっていた和の代大谷橋は、工費五百万円をかけて四月三十日完成。

七月からは取付道路の工事にもかかって十月九日にすべて完了した。

十一月十八日には、仮開通式を行ない、すでに使用されている。

……◇……

この橋の先が、和の代と滝力原を結ぶ、林道で、工事も残りわずか、年があけると間もなく完成する予定になっている。

衛生

今年は赤痢の発生が非常に少なく、集団発生はほとんどなかった。

ただ十月に入ってから、ジフテリヤが全国的発生の影響を受けて、市内でも十、十一の二カ月だけで五十七名の発病をみている。

……◇……

赤痢の減少は、昨年十二月から実施している赤痢予防特別対策によるいっせい検便の効果があらわれたものと考えられる。

……◇……

その他昆虫類（ネズミ、ハエ、カ）の駆除対策については、数回にわたり実施してきたが、中宮祠地区、湯元など、地元関係者の強力な推進活動により、けん著な成果を納めることができた。

その他の市街については、まだ不充分の感が強く、さらに徹底した駆除対策が望まれている。

行事

一年間のあいだには、全国的規模をもった大会、市独自の催しなど数多く行なわれたが、四月十四日の日米交歓吟詠大会、六月六日の第四回全国環境衛生大会、八月十八日の全国剣道七段選定選手優勝大会、十月二日の列国議会同盟日光視察などがあり、そのほかでも、いくたの行事が開かれた。

……◇……

一月十五日「成人の日」この日はれて成人となった青年男女四五九名の前途を祝して、公会堂で第十二回成人式が挙行された。

「郷土の繁栄と、一国一城の誠は、私達青年の双肩にかかると思えば、その責任の重かつ大なるを痛感、明るい社会の建設にまい進する覚悟であります」成人者代表は、力強く宣誓する。

（写真㋓）

……◇……

二月十一日は市制施行六周年の記念日、この日、二荒山神社で報告祭が行なわれ、市長、議長、その他各役職出席のもとに新市建設の祈願を行なう。

……◇……

三月二日、日光高校講堂で第二回「巣立つ職業人を励ます会」が開かれ、就職する生徒約五百名に、市長、議長、教育委員長などから励ましの言葉を贈り、観光課製作「日光」と総務課製作「市政ニュース・第二号」の二つの映画を鑑賞した。

（写真㋔）

三月六日、東京・日光間の第九回全国実業団対抗駅伝競争が実施され一着には昨年の優勝チーム九州電工が再度の優勝をかざった。

地元古河電工はよく健斗し七位（昨年十位）に入った。

（写真㋕）

……◇……

五月三日、憲法発布記念日には、自治功労者の表彰式が、例年どおり行なわれ、今年は、産業功労、納税功労、土木災害および治水功労、消防功労、篤志寄付、永年勤続など三十五名が表彰された。

……◇……

五月五日の子供の日からの児童福祉週間の行事として、八日、児童劇団を招いて、良い子たちに名演技を贈った。そのほか、各関係者を集めての「児童についての懇談会」では、児童問題についての熱心な討議がなされ、児童委員による「児童福祉施設の慰問」も行なわれた。

……◇……

九月十五日、としよりの日に開かれた敬老会には、これまで共能人を呼んでいたのを改めて有志、婦人会の出演で、老人をなぐさめた。

……◇……

十月八日、日光で全国里親大会が開かれた。この大会には、全国の里親、里子の代表が集まり、里親制度の発展についての討議が、熱心に行なわれた。午後は、高松宮妃殿下をお迎えして、中禅寺レーキ・サイドホテルで、パーティを開いたあと、中禅寺湖で船に乗り、楽しい一日を送った。

（写真㋖中禅寺湖の高松宮妃殿下）

十一月十一日からの、第十回日光市文化祭には、一般から絵画、書道など千部門四百六十七点、児童生徒作品は、四部門八百六十七点が出品された。

また文化祭行事として行なわれた市内学校音楽会は、十三校十五種目、邦楽舞踊の会は、十社中十七種目が出演、いずれも好評だった。

（写真㋗）

……◇……

農業祭は、昨年までの農業祭に、日光杉並木工展と、計量展示会を加えた新らしいもので、発足早々の経済課がうちだしたまとまりのある祭典として、好評をはくした。

十一月十八日には、仮開通式を行ない、すでに使用されている。

……◇……

この橋の先が、和の代と滝力原を結ぶ、林道で、工事も残りわずか、年があけると間もなく完成する予定になっている。

むすび

市政一年のあゆみを、ほんの大ざっぱに眺めてみたわけだが、今年をふりかえってみて、一口にいえることは、とくにきわだった出来事はなかったかわりに、着実に一歩一歩をふみしめての前進だったといえよう。

例年のような、台風の被害もなく、前例がない豊作の年だったのだから、やっぱり黄金の年であったのかも知れない。

年の瀬にあたって、静かに去りゆく年、昭和三十五年の回想を終ろう。

そして今度は、来る年、昭和三十六年を迎える心がまえをするときだ。

今年のうちに終らなかったこと。

手をこまぬいてから、本格的にとりかかること、そしてまた、まったく新らしく来年から始めることなど……どうやら昭和三十六年に課せられた宿題は多いようだ。

市民憲章の推進も、まだまだこれからだし、茶の木平、霧降高原などの開発、そしてまた第二イロハ坂の夢など、来年に開けゆく日光市の姿を思うとき、私達が来年以降にかける期待は大きい。

市民の皆様、どうか良いお年をお迎えください。

× × ×

ねずみを退治しよう

日光市内一斉ねずみ駆除

今年は実に空前の大豊作、しかし、豊作万才と喜んでいるのは、私たちだけではないようです。

年に一千億円以上もの食糧を我々から盗みとるネズミ共が、今年もまた腹一ぱい食べられると、もろ手を挙げて喜んでいます。そのうえ、ねずみは、私たちの衣類、家具、家屋をかじったり、恐ろしいいろいろな伝染病の媒介をまきちらしたりして、人間の日常生活に、大きな害をおよぼしています。

わが国の家ねずみの数は、少なくとも人口の三倍といわれ、これに田畑や、山林の野ねずみを加えると、実に人口の十倍近くに達するものと思われます。

そこで今年こそ、このにくらしい百害のねずみを、根こそぎ駆除し、明るい生活のできるように、十二月十日から二十日まで「**日光市内いっせいねずみ駆除**」を展開することになりました。

ねずみの駆除は、ハエや蚊を駆除するときと同様に、おたがいに共同して、部落ぐるみ、町ぐるみ、といった組織的な駆除をいっせいに行なわなければ、よい成果をえられないことは、いうまでもありません。

また、ハエや蚊が発生してくる源として、便所や、ごみ溜め、下水などの対策が重要であり、殺虫剤をまくことはそのつぎの手段です。ねずみ駆除の場合も、全く同じです。

ねずみの通路をふさいだり、巣を見つけ出して、取り除いたり、あるいは、ねずみがひっくり返して食べられるようなものを、常にかたづけておくならば、ねずみは住みにくくなるので、なかば駆除の目的が達せられます。このようなことを、各家庭で実施して、そのうえで一斉に毒餌を使って駆除すれば、成功するわけです。

毒餌の与え方　○事前にやっていただきたいこと。

○ねずみのいる場所、通る場所を、よく調べてください。

毒餌の置き方　○毒餌を置くまえに、二、三日ねずみの出そうなところに無毒餌を置いて、これを食べるのを見定めてから、毒餌を、チリ紙、新聞紙などに、五～十粒位包んで、ねずみの通路から一尺ぐらいはなれた所に置いてください。

実施後の処置

○実施後、ねずみの死んだ数と、食べた毒餌の数を、あなたの町内の衛生部長さんに知らせてください。

○ねずみの死体は、川に流さないで、穴を掘って埋めるか、ゴミ箱に捨ててください。